

令和3年度第4回理事会議事録

日時：令和3年9月18日（土）13時30分～15時48分

場所：鹿児島県看護研修会館2階研修室

I 理事会の構成

理事：17名 監事：2名 合計19名

II 理事の出欠確認

出席理事 15名

会長 田畑千穂子（代表理事）

副会長 中重敬子

専務理事 今村 恵

職能理事 小田房子、潟山勝美、谷川智子、柳田千草

准看護師理事 志水恵美子

地区理事 福島寿美代、堂園千代子、久保田祥子、溝下晴美、寺師真理子、
神園瑞代、正岡ゆかり

欠席理事 2名

副会長 丸目まり子

常任理事 林 恵子

III 監事の出欠確認

出席監事 2名（全員出席）

永山広子、岩重洋一

IV 会長挨拶（略）

V 定足数の確認

定款第40条に基づく議決に加わることができる理事16名（会長＝議長は除く）のうち14名の出席は、議決に加わることができる理事16名の過半数8名以上であることから本会は有効に成立することを確認した。

以後、会長（定款第39条）が本理事会の議長となり、以下のとおり進行した。

VI 協議事項

1 事業推進に関する事項

- 1) 令和3年度厚生労働省地域保健活動普及等委託費保健指導支援事業「地域課題の解決に向けた事例検討会の活用の推進」事業について

専務理事は、次のように説明した。

医療現場では複雑な背景かつ多重課題など多くの問題を抱えている。地域の課題としてネッ

トワークの連携不足等も多い。その中で、日看協が厚生労働省の委託を受けて、昨年「複雑かつ多重課題事例を支援する事例検討会の手引き」を作成した。この手引きにもとづき事例検討会を行うことで実際にその効果があるのか検証をしたいとして、日看協は、今年度、全国4カ所でモデル地区を定めて進め、本県に打診があった。これについて、保健師職能を通して検討した結果、コロナ禍の厳しい状況の中であることを鑑み、本協会が日看協との間でサポート役を果たすことを前提に、加世田保健所から内諾を得ている。ついてはこの事業を進めて良いか図りたい。

また、保健師職能理事からは、この事業の事例検討会の意見集約などについては共有できるように進めたいとの意見があった。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2 管理的事項

1) 九州地区法人会及び連絡会の協議事項について

専務理事は、次のように説明した。

今回、本県からは議題を3件提案したい。1「看護の日・看護の週間」のイベントについては、広く県民に広報することとなっているが、このことに加え、日看協は、看護人材の確保を目的とし、アクションプランとして①魅力ある職業としての看護職のイメージの醸成、②若年層への情報発信の強化を掲げている。来年度どのように取り組んだらよいか参考としたい。

2「小児在宅移行支援指導者育成研修」の開催については、日看協の神戸研修センターで開催されてきたが、令和2年度の診療報酬改定により入退院の加算3の施設要件にかかる研修として位置付けられたことから、各地域で開催することへの意向調査がある。本県は受講要件の該当施設が限られているので各県の意向を確認したい。

3「基礎教育を考える会」の開催について、昨年度実施したが、日看協が4年制を推進しているが県主催の開催となる。3年課程の養成所2ヶ所の閉校が決まっており、5年一貫校6校・准看護師養成所4校等が存続し、多様な看護教育となっている。看護職養成をめぐる現状は大変厳しく、課題が多い。4年制導入に向けてどのようなことに取り組んでいるのか、他県の動向を伺いたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 記念誌発行委員会について

会長から事務局長へ指示があり、事務局長は次のように説明した。

本年度の事業計画により、記念誌の発行に関して、準備委員会を設置して進めて行くとの方針が示されたことから、今回委員会設置要綱を定めることとしたい。

所掌事務としては、記念誌の構成内容や情報及び資料の収集、発行部数及び発行時期に関することなどとしている。委員には、各職能からご協力をいただきたいと考えている。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3 会員支援について

- 1) 令和4年度改選役員・推薦委員並びに令和5年度代議員及び予備代議員の公募について
専務理事は、次のように説明した。

このことについては、令和4年5月の通常総会において選出となる。よって今後、「看護かごしま」で立候補の公募を行うので、会員の方々へ周知をお願いしたい。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

- 2) 厚生労働省表彰（公衆衛生事業功労者）について

専務理事は、次のように説明した。

長年にわたり保健師として保健衛生福祉部門に従事し、その専門性を発揮して業務を遂行したほか、後進保健師の指導・育成等に尽力し、公衆衛生に貢献した永山広子氏を推薦したい。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

- 3) 会員の福利厚生について

会長から事務局長へ指示があり、事務局長は次のように説明した。

会員の方々への企業等から販売目的の商品などの斡旋がある。今回、会員のメリットをはじめ対象企業等の基準を設けて、業務執行理事会での審議を受けた後、ホームページに掲載して、会員の皆さんが直接申し込めるようにしたい。

出席理事からは、社会通念上信頼があり、虚偽や不正の発生事例がない企業等については、どのように把握するかとの意見については、事務局でネットなどで調べたり、要領に対象者の基準を明確に示すことが抑制につながるとした。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

VII 報告事項

1 基本方針

- 1) 令和4年度予算に係る知事への要望書提出について

2 事業推進に関する事項

- 1) 教育事業について
- 2) 看護職員就業相談事業について
- 3) 地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業について
- 4) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務について
- 5) 病院実習等の負担軽減のための看護師養成施設等における実習補完事業について
- 6) 施設代表者会議について
- 7) 訪問看護供給体制確保推進事業について


- 8) 2021年度災害支援ナース派遣調整合同訓練について
- 9) 研修会「看護と法的責任について」(会員増に関する事業)
- 3 管理的事項
 - 1) 理事会議事録について
- 4 会員支援関係
 - 1) 令和3年度鹿児島県看護協会会員数及び会員専用ページ閲覧状況
- 5 その他(一部当日配布)
 - (1) 日本看護協会理事会報告(口頭報告) (2) 職能委員会報告(書面報告)
 - (3) 地区報告(書面報告) (4) 委員会報告(書面報告)
 - (5) 地区長情報交換会報告(口頭報告) (6) 他団体会議報告(書面報告)
 - (7) 出張報告(県外・WEB会議)(書面報告)

以上、議長は協議事項が全てを終了した旨を告げ、15時48分に閉会した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、次のとおり署名する。

令和3年9月18日

公益社団法人 鹿児島県看護協会

代表理事(会長) 田畑千穂子 

監 事 永山 広子 

監 事 岩 重 洋 一 